

健康 わんだーらんど Wonder Land

秋号 2019
Vol.63

こんにちは健康ワンダーランドです。今回は“超音波内視鏡検査”について取りあげてみました。

「超音波内視鏡検査(EUS)について」

佐世保中央病院 消化器内科 医長 高木 裕子



今回は、昨今の消化器疾患の診療の中で、普及してきている超音波内視鏡検査(EUS : endoscopic ultrasonography) について、ご説明します。

EUSは、消化管内腔から消化管壁あるいは壁外の臓器を超音波断像として描出する検査法です。腸管ガスや腹壁・腹腔内の脂肪・骨による妨げが無いいため、臓器によっては体外エコーよりも高い分解能の画像が得られる事があります。内視鏡先端に超音波振動子がついているEUS専用機や細径プローブなどがあります(図1)。EUSでは、通常の内視鏡では見ることのできない、病変の内部を観察することができます。消化管の壁の構造をみることができるので(図2)、癌がどのくらい深くまで及んでいるか、粘膜下腫瘍の内部構造や膵腫瘍の内部構造がわかります。よって、適応は主に食道・胃・大腸癌の深達度診断、消化管粘膜下腫瘍の鑑別診断、膵腫瘍の精密検査、その他胆嚢や縦隔腫瘍の精査等となります(表1)。

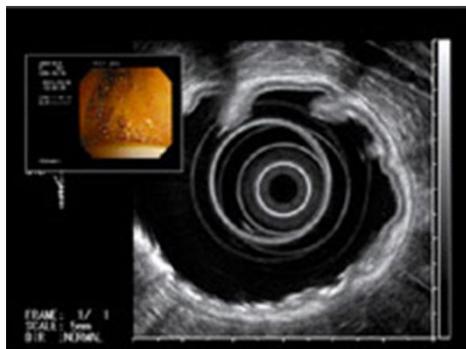
図1：超音波専用機と細径プローブ



表1：EUSの検査適応領域

- | | |
|-------|---|
| ①消化管 | 食道・胃・大腸癌の深達度診断
消化管粘膜下腫瘍の鑑別診断
食道・胃静脈瘤の診断 |
| ②胆膵疾患 | 膵嚢胞・膵腫瘍の鑑別診断
膵癌の進展度診断
小膵癌の拾い上げ
慢性膵炎の診断
胆嚢ポリープ/隆起性病変の鑑別診断
胆嚢癌・胆管癌の深達度/進展度診断
総胆管結石の診断
膵胆管合流異常の診断
乳頭部癌の深達度/進展度診断 等 |
| ③その他 | 肺癌のリンパ節転移診断
後縦隔腫瘍の診断
腹腔内腫瘍の診断
副腎腫瘍の診断
脾腫瘍の診断 等 |

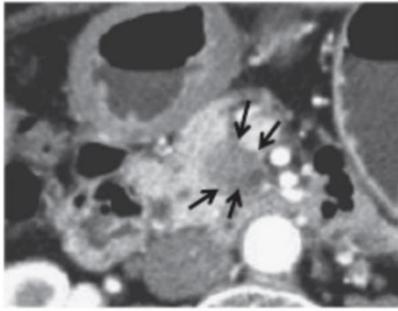
図2：EUSの画像



⇒ 次ページへ

また、膵腫瘍(図3)や消化管粘膜下腫瘍を認めただけの場合には、確定診断のために組織を採取することもあります。(超音波内視鏡下穿刺吸引生検法EUS-FNA:EUS-guided fine needle aspiration) EUS-FNAの合併症は、一般的には1%程度ですが、膵炎や出血、感染、その他腫瘍の播種のリスクもあります。

図3：膵腫瘍の造影CT像とEUS像の比較 (出典：膵臓, 2011, 26.1 : 37-42)



〈造影CT画像〉膵臓に類縁形の腫瘍を認める

〈EUS画像〉膵臓に低エコー腫瘤を認める

EUS検査は日帰りでの検査が可能ですが、通常の検診で使用するカメラよりも太く検査時間も15~20分程度かかるため、鎮静剤を使用して行うのが一般的です。検査後は1日眠気、ふらつきが続くことがあるため、家族の付添がある方がよいでしょう。EUS-FNAは、上記のような合併症のリスクもあるため入院のうえ検査を行います。

●膵癌について

膵癌は、がん部位別死亡数(2016年)が肺癌、大腸癌、胃癌について第4位で、部位別癌の5年生存率は最も悪く7.7%という統計結果でした。早期発見が難しい病気で、診断時のおよそ80%はStage IVの進行癌とされています。いかに小さいうちに発見できるかが予後改善に重要です。

膵癌の危険因子としては、家族歴、遺伝性、合併疾患(糖尿病、肥満、慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍)、喫煙、アルコールなどがあります(表2)。危険因子を有する方は、かかりつけの医療機関や人間ドッグなどで、膵酵素や腫瘍マーカー、腹部エコーを受け、異常を指摘された場合にはEUSや造影CT、MRIなどでの精密検査を受けることが膵癌の早期発見には必要と思われます。

表2：膵癌の危険因子について (出典：日本内科学会雑誌, 106(9), 1761-1772.)

家族歴	家族性膵癌	6.79倍
	散発性膵癌	家族の膵癌発症者が50歳未満では9.31倍 1.70~2.41倍
遺伝性	遺伝性膵炎	60~87倍
	遺伝性膵癌症候群	
	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	4.1~5.8倍
	Peutz-Jeghers症候群	132倍
	家族性異型多発母斑黒色腫症候群	13~22倍
	家族性大腸腺腫ポリポーシス 遺伝性非ポリポーシス大腸癌	4.4倍 ~8.6倍
合併疾患	糖尿病	1.94倍
	肥満	20歳代にBMIが30 kg/m ² 以上の男性では3.5倍
	慢性膵炎	診断から4年以内は14.6倍 診断から5年以降は4.8倍
	IPMN	分枝型では年間1.1~2.5%
嗜好	喫煙	1.68倍, 喫煙本数と相関
	アルコール	3ドリンク以上で1.22倍
職業	塩素化炭化水素曝露	2.21倍

BMI : body mass index



◆ 保健指導を受ける意味について

健康増進センターでは、健康診断の受診者に対して必要時保健指導を行い、受診者の健康維持・増進のサポートに努めております。主にメタボリックシンドロームや脂質代謝異常に関連する保健指導を、毎年約3000名に対して実施いたしております。当センターには、保健師だけでなく、健康運動指導士が在籍しており、また当院の管理栄養士へのコンサルトも可能となっているため、運動指導や栄養指導についても柔軟に対応いたしております。お気軽にご相談下さい。

● 健康診断・保健指導を受ける意味とは？

早期には自覚症状がなく、症状が現れた時にはすでに進行しているという病気は少なくありません。症状のない病気を早期発見するためには、無症状のうちから定期的な健康診断を受けることが大切です。またメタボリックシンドロームや生活習慣病は、生活習慣に密接に関係していますので、無症状のうち危険因子を見つけ、食事やライフスタイルの改善により発病を予防することが可能です。健康診断でメタボリックシンドロームといわれたら、自分自身の生活習慣を一度見直してみましょう。

自らの健康を守るためにも、まずは一人ひとりが自分自身のからだに向き合うことが予防の第一歩です。定期的に健康診断を受け、その結果をもとに生活習慣の問題点を自覚し、改善に取り組んでいただければと思います。



当センターでは、人間ドックをお受けいただいた方へ下記の保健指導結果票をお渡ししています。

保健指導を通して、受診者の方が自らの健康を守るために自分自身のからだに向き合い、改善に向けたお手伝いのできればと考えております。

また、健康診断の結果だけではなく普段の生活における悩みや相談（睡眠不足や更年期、老化、筋力増強等）等、様々なご相談にも柔軟に対応させていただきたいと思っておりますので、悩みや疑問点等あればご遠慮なくお尋ね下さい。



◆ 健康増進センタースタッフ紹介

新たに仲間入りをしたスタッフをご紹介します。



健診支援課
看護師
かわさき るみ
川崎 留美

本年9月より健康増進センターに勤務することになりました川崎留美と申します。受診者の皆様が安心して検査を受けられるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い健康診断を提供します。
3. 健康診断や保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健康診断業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医 : 中尾・寺園 非常勤医 :	元永・黒田・佐野			
午後診察	※ 毎日2~3名の医師が担当いたします				
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくか、お電話およびホームページからのご予約をお願い致します。

○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）



【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号 (0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

右のQRコードをご登録してアクセスいただければ
当施設ホームページから人間ドックのご予約ができます。



編集後記

早いもので、今年も残すところ2ヶ月余りとなり、この健康ワンダーランドも本年最後の発行となりました。一年間ご愛読いただき有り難うございました。さて、本号では超音波内視鏡検査について、担当医師から詳しい情報提供を行わせていただきました。ご参考いただければ幸いです。次回発行日は、来年1月を予定しています。どうぞご期待ください。

